



Mist 設定マニュアル - WAN Assurance - SSR 補足資料 SSR 静的 IP アドレスによるオンボーディング

ジュニパーネットワークス株式会社
2024年12月 Ver 1.0

はじめに

- ❖ 本マニュアルは、『SSR 静的 IP アドレスによるオンボーディング』について説明します
- ❖ 手順内容は 2024年12月 時点の Mist Cloud にて確認を実施しております
実際の画面と表示が異なる場合は以下のアップデート情報をご確認ください
<https://www.mist.com/documentation/category/product-updates/>
- ❖ 設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください
<https://www.mist.com/documentation/>
- ❖ 他にも多数の Mist 日本語マニュアルを「ソリューション&テクニカル情報サイト」に掲載しております
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/mist.html>
- ❖ **本資料の内容は資料作成時点におけるものであり事前の通告無しに内容を変更する場合があります**
また本資料に記載された構成や機能を提供することを条件として購入することはできません

静的 IP アドレスでのオンボーディング

DHCP のない環境でのオンボーディング

NOTE

DHCP でのオンボーディングが推奨です

DHCP の利用ができない場合は、静的 IP アドレスでのオンボーディングも可能です

いかなるオンボーディングシナリオでも、最終的にデバイスは Mist Cloud から WAN アドレス情報を含む設定を受け取り、設定に反映します。テンプレート未適用の場合、WAN 設定は DHCP がデフォルトのため、その設定が反映(静的 IP > DHCP)され DHCP が利用できない環境では疎通が不可となります

そのため、サイトには事前にテンプレート設定の適用が必要です。この例では、繰り返し複数のサイトでの利用を想定しテンプレート機能とサイト変数を利用した手順を紹介します

- DHCP を利用できる環境でオンボーディングを行う
 - 一時的に DHCP サーバを用意する
 - 事前キッティング環境を用意する
- コンソール接続して、静的 IP アドレスを設定する



機器を Mist に Claim し、静的 IP アドレス(サイト変数)を設定したテンプレートを適用したサイトへアサインします
テンプレートに設定した静的 IP アドレスが機器に反映されます

Mist Cloud

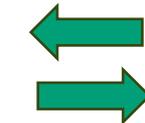


WAN Edge Template

テンプレートの WAN に IP アドレスを設定

Site

Claim & サイトアサイン



テンプレート設定反映

ポートマッピングは下記参照
[SSRハードウェアプラットフォーム](#)

DHCP

Static

PCLI で設定
(コンソール接続)



静的 IP アドレスでのオンボーディング

テンプレート設定 & サイト変数設定

1. テンプレートの WAN を設定します ※その他設定は割愛 (Organization > WAN Edge Template > WAN)
2. [Organization] から、[Site Configuration] をクリック、サイトを選択し、[Add Variable] でサイト変数を設定します

Name * VAR
wan0

WAN Type
 Ethernet DSL ⓘ LTE

Interface * VAR
ge-0/0/0
(ge-0/0/1 or ge-0/0/1-5 or reth0, comma separated values supported for aggregation)

Disabled
 Port Aggregation
 Redundant BETA
 Enable "Up/Down Port" Alert Type ⓘ
(Manage Alert Types in Alerts Page)

VLAN ID VAR

IP Configuration
 DHCP Static PPPoE

IP Address * VAR / Prefix Length * VAR
{{wan0_static_ip}} / {{wan0_prefix}}

Gateway VAR
{{wan0_gateway}}

インタフェースを指定

IP アドレス、Gateway を設定
この例では、サイト変数を利用
しています

Site Variables Add Variable Import Variables

Variables	Values
{{wan0_static_ip}}	192.168.1.222
{{wan0_prefix}}	24
{{wan0_gateway}}	192.168.1.1

NOTE

サイト変数を利用することで、複数サイトで環境に合わせて静的 IP アドレスを設定することができます

静的 IP アドレスでのオンボーディング

PCLI での静的 IP アドレス設定

- SSR にコンソール接続し、静的 IP アドレスを PCLI で設定します
(コンソール接続方法は、S-01_Console接続手順 を参照)

黄色字の部分は環境にあわせて実際の値に置き換えてください

- DHCP 無効化

```
configure authority router router node node device-interface ge-0-0 network-interface  
ge-0-0-intf dhcp disabled
```

- 静的 IP アドレスとプレフィックス長を設定

```
configure authority router router node node device-interface ge-0-0 network-interface  
ge-0-0-intf address wan0_static_ip prefix-length wan0_prefix
```

- Gateway アドレスを設定

```
configure authority router router node node device-interface ge-0-0 network-interface  
ge-0-0-intf address wan0_static_ip gateway wan0_gateway
```

- 設定の反映

```
commit force
```

NOTE

SSR の PCLI 設定では、ge-0-0 表記なのでご注意ください

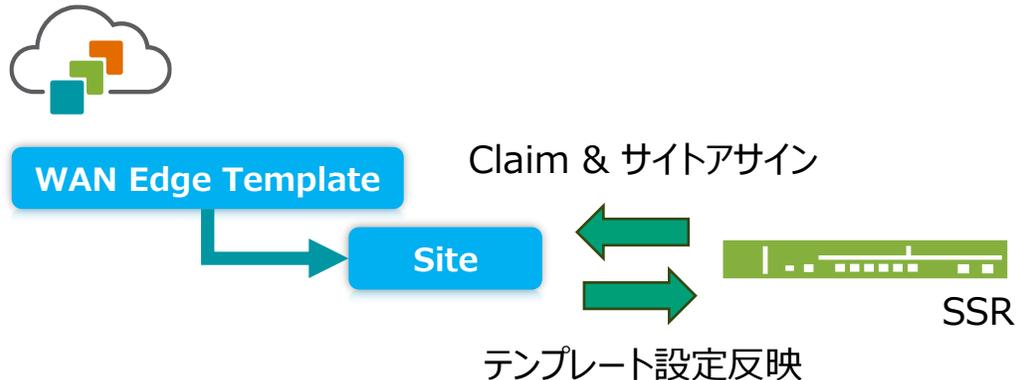
初期設定では通信が許可されていないため、PING による疎通確認はできません

静的 IP アドレスでのオンボーディング

Claim & サイトアサイン > テンプレート設定反映

4. テンプレートを適用しているサイトに、SSR を Claim し、当該サイトにアサインします

Mist Cloud



NOTE

テンプレートを適用していないサイトにアサインすると、WAN の設定がない(未設定:DHCP)ため静的 IP アドレスが削除されます
テンプレートを適用したサイトにアサインしてください

DHCP により IP アドレス取得が可能な場合は、WAN Edge 個別設定や後からテンプレート設定を適用することもできます

5. WAN Edge が Connected になっていることを確認します
設定は、WAN Edge の詳細ページでポートをクリックすると確認できます

WAN Edges > WAN Edges > {WAN Edge} で詳細ページを開き、静的 IP アドレスを設定したポートをクリックします

The screenshot shows the configuration page for 'WAN Edges : SSR-VM'. A callout box labeled 'ポートをクリック' points to the 'ge-0/0/0' interface in the 'SSR' section. Below this, the 'NETWORKS' table is visible, showing the configuration for the 'wan0' interface.

Name	Interface	VLAN	IP Address	Address Mode	Bytes (TX/RX)	Packets (TX/RX)	Speed Test
wan0	ge-0/0/0	0	192.168.1.222/24	Static	13.7 MB / 65.5 MB	63.7 k / 221.7 k	Run Test



Thank you

JUNIPER
NETWORKS®